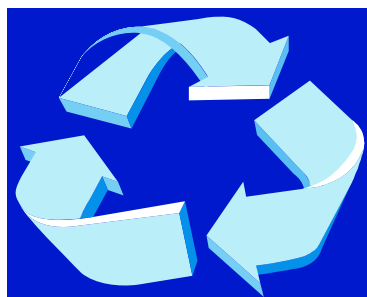


2023年度
環境経営レポート
(2023.4~2024.3)



発行：2024年8月1日
更新：2025年1月1日

建設泥土のトータルプランナー
協栄興業株式会社

埼玉県春日部市下柳1450番地5

TEL048-718-0311/FAX048-718-0312

Mail: info@kyou-a.co.jp

ホームページ: <http://www.kyou-a.co.jp/>

目次

	頁
1. 組織の概要	1
1. 1 事業所の概要	1
1. 2 事業の概要	2
2. 適用範囲	5
3. 環境経営方針	6
4. 環境経営目標	7
5. 環境経営計画	8
6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組	9
7. 環境関連法規制等の遵守状況及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無	11
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	12
(参考) 当社のSDGsの取組	13

1.組織の概要

1. 1 事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者

事業者名：協栄興業株式会社

代表者：代表取締役社長 野寺 貴之

(2) 所在地

〒344-0122 埼玉県春日部市下柳1450番地5

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

・環境管理責任者 野寺 貴之

・連絡担当者 野寺 貴之

・連絡先 藤丸 三紀

埼玉県春日部市下柳1450番地5

TEL048-718-0311/FAX048-718-0312

Mail: info@kyou-a.co.jp

(4) 事業活動の概要

建設汚泥の産業廃棄物収集運搬及び中間処分(リサイクル)

(5) 事業の規模

① 設立年月日昭和60年1月18日

② 資本金13百万円

③ 売上高373百万円(令和6年6月)

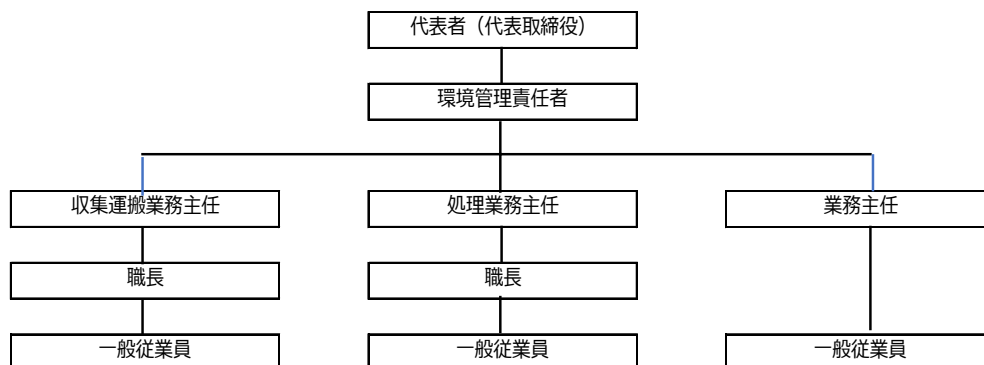
④ 収集運搬量・処分量収集運搬量：20,441t 処分量：18,708t

⑤ 従業員16人

⑥ 敷地面積 3,983.00㎡

⑦ 組織図

EA21推進組織図



1. 2 事業の概要

(1) 許可の内容

① 産業廃棄物処分業許可

許可県	許可番号	事業の範囲及び種類	許可更新/変更年月日	産業廃棄物の種類
			許可有効期限	
埼玉県	1120023700	中間処理業 (脱水・造粒固化)	令和6年8月26日	*脱水・造粒固化： 汚泥（無機性汚泥に限る）以上1種類
			令和13年7月2日	*造粒固化：汚泥 （無機性汚泥に限る） 以上1種類
処分場所在地		埼玉県春日部市下柳1440番1、1444番 電話048-718-0311		

②一般建設業許可

許可県	許可番号	許可有効期限	建設業の種類
埼玉県	(般-3) 第51867号	令和8年6月19日	*鳶・土木工事業 *土木工事業 *舗装工事業 *浚渫工事業 *水道施設工事業

建設業について、事業実態は殆どありません。

③ 産業廃棄物収集運搬業許可

許可行政	許可番号	許可年月日	有効期限	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉍さい	がれき類	ばいじん
埼玉県	1105023700	平成29年7月3日	令和6年7月2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都	1300023700	平成29年7月27日	令和6年7月26日		○	○			○	○	○	○		○	○	○		○	
千葉県	1200023700	平成29年8月1日	令和6年6月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神奈川県	1402023700	令和5年8月7日	令和12年6月23日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
茨城県	801023700	平成30年2月26日	令和6年12月25日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
栃木県	900023700	令和5年7月5日	令和12年7月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
群馬県	1000023700	令和5年8月3日	令和12年8月2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島県	707023700	令和5年7月29日	令和12年7月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

④ 廃棄物再生事業者登録

登録機関	登録番号	事業の内容	登録年月日
埼玉県	V58	汚泥の脱水及び造粒固化	平成21年12月17日

⑤東京都 優良性基準適合認定制度

登録機関	認定番号	認定・業の区分	認定登録日 有効期間
公益財団法人 東京都環境公社	5-21-A0066	第1種評価基準適合業者 産廃エキスパート認定 (収集運搬業)	令和4年4月1日
			令和7年3月31日

(2)施設の状況

施設等の状況は次のとおりです。

①運搬車両の種類と台数

車両の形状	台数	最大積載量 (kg)
ダンプ	4	10,700
清掃車	12	2,620~8,120
タンク車	6	9,680~11,110

大型コンテナ車 6台 	大型ダンプ車 4台 	大型マルチバック 1台 
中型マルチバック 3台 	中型スーパーモービル 1台 	大型スーパーモービル 4台 
大型パワープロベスター 3台 		

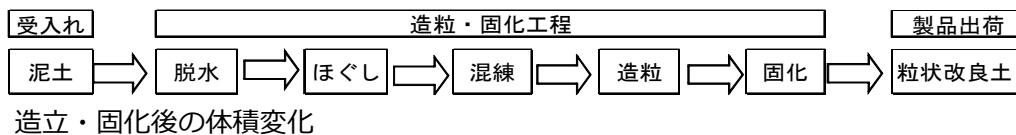
②保管施設の種類及び能力等

産業廃棄物の種類	保管面積	高さ・保管上限量
汚泥（無機性汚泥に限る）	36.0㎡	2.5m（屋外地下ピット 90.0m ³ ）
汚泥（無機性汚泥に限る）	36.0㎡	2.5m（屋外地下ピット 90.0m ³ ）
汚泥（無機性汚泥に限る）	70.4㎡	3.5m（屋外地下ピット 246.4m ³ ）
汚泥（無機性汚泥に限る）	70.4㎡	3.5m（屋外地下ピット 246.4m ³ ）

③施設等の状況

施設の種類	処理能力	産業廃棄物の種類
脱水施設	9.87m ³ /日 (8時間)	汚泥（無機性汚泥に限る。）
造粒固化施設	240.00m ³ /日 (8時間)	汚泥（無機性汚泥に限る。）

④処理工程図



※プラントメーカー：北川鉄工所 環境事業推進本部 東京チームの 試験により、“造粒固化処理における質量変化は認められません。”との、報告をいただいています。

(4) 産業廃棄物の処理実績

受託した産業廃棄物の処理量

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量（t）		
			21年度	22年度	23年度
収集運搬	汚泥 (無機性汚泥)		25,460	27,324	20,441
収集運搬量合計			25,460	27,324	20,441
中間処理 ⁽³⁾	汚泥 (無機性汚泥)	(脱水・造立固化)	29,261	23,121	18,708
うち再資源化等	汚泥 (無機性汚泥)		29,261	23,121	18,708
		再資源化等量合計	29,261	23,121	18,708
中間処理合計			29,261	23,121	18,708

中間処理量は、自社収集運搬 + 他社収集運搬受入の合計を示します。

(4) 廃棄物処理料金

8,000円～18,000円/m³

2. 適用範囲

(1) 認証・登録の範囲

当社の全ての組織、製品・活動・サービスを認証・登録の適用範囲としています。
建設汚泥の産業廃棄物収集運搬及び中間処分(リサイクル)

(2) レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2023年4月～2024年3月 発行日：2024年8月

施設の紹介

・再資源化施設入口



・再資源化プラント全景



・造粒・固化プラント



・環境ミキサー「ベレガイア」



・再資源化施設内全景



産業廃棄物中間処理施設 再生資源回収工場 登録番号 V-53				
施設名称	協栄興業株式会社 再生資源回収工場 登録番号 V-53			
所在地	〒100-0001 東京都千代田区千代田			
施設管理者	協栄興業株式会社 代表取締役社長 佐藤 隆夫			
中間処理方法	再生資源回収(リサイクル)			
処理対象	建設汚泥、産業廃棄物			
処理能力	最大処理能力：100t/日			
処理時間	24時間稼働			
処理費用	1tあたり 10,000円(税別)			
処理内容	選別	砕砕	造粒	固化
処理能力	100t/日	100t/日	100t/日	100t/日
処理時間	24時間	24時間	24時間	24時間
処理費用	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
処理内容	選別	砕砕	造粒	固化
処理能力	100t/日	100t/日	100t/日	100t/日
処理時間	24時間	24時間	24時間	24時間
処理費用	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
処理内容	選別	砕砕	造粒	固化
処理能力	100t/日	100t/日	100t/日	100t/日
処理時間	24時間	24時間	24時間	24時間
処理費用	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

<基本理念>

私たち協栄興業株式会社は、建設泥土のリサイクルプラントにより効率的な再資源化を進めてきましたが、エコアクション21環境経営システムを導入し、効果的な活動を展開することにより、建設泥土のリサイクル化の普及と環境の継続的改善に貢献することを目指します。

<行動指針>

当社は、基本理念の実現に向け、日頃の事業活動のなかで環境保全に配慮して行動することを経営の重要課題の一つとしてとらえ、次の行動指針を定めます。

1. 建設泥土のリサイクル事業に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるため環境経営目標を定め次の取組を行います。

- ① 収集・運搬等における二酸化炭素排出の低減
- ② 建設泥土リサイクル設備等の使用電力量の低減
- ③ 水道使用量の低減
- ④ 工場内外の4S活動を推進

2. エコアクション21への取組みの自己チェックを行い継続的な改善を図ります。

3. 事業活動において適用される環境法規制等を遵守します。

4. 環境における課題とチャンスを踏まえ、継続的な取組を行っていきます。

5. 環境教育訓練の実施により、全ての構成員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。

6. 環境経営方針を公開すると共に必要な環境情報の開示に努めます。

2010年9月1日 制 定

2020年4月1日 改訂5版

協 栄 興 業 株 式 会 社
代表取締役社長 野寺 貴之

4. 環境経営目標

2023年度の環境経営目標

目 標	指標	基準年度 2019年度実績	2023年度	
			基準年度比	目標値
1.二酸化炭素排出量の低減	kg-CO ₂	559,011	4%減	536,651
2.軽油使用量の低減	km/L	2.53	4%増	2.63
3.電力使用量の低減	kWh/ t -中間処理量	2.46	4%減	2.36
4.水道使用量の低減	m ³ /年	926	4%減	886
5.紙ごみ排出量の抑制・維持	kg/年	230以下	維持	230以下
6.4S活動の推進・維持	点	80以上	維持	80以上

購入電力の換算係数は0.441kg-CO₂/kWh（東京電力2019年度）を使用しています。

2024年度～2026年度中期環境経営目標

目 標		指標	基準値 (2023年度実績)	2024年度	2025年度	2026年度
1.	二酸化炭素排出量の低減	kg-CO ₂	592,306	1%	2%	3%
				586,383	580,460	574,537
2.	軽油使用量の低減	km/L	2.47	1%	2%	3%
				2.49	2.52	2.54
3.	電力使用量の低減	kWh/ t - 中間処理量	3.86	1%	2%	3%
				3.82	3.78	3.74
4.	水道使用量の低減	m ³ /年	918	1%	2%	3%
				909	900	890
5.	紙ごみ排出量の抑制・維持	kg/年	230以下	維持	維持	維持
				230以下	230以下	230以下
6.	4S活動の推進・維持	点	80以上	維持	維持	維持
				80以上	80以上	80以上

購入電力の換算係数は0.4441kg-CO₂/kWh（東京電力2019年度）を使用しています。

5. 環境経営計画

2023年度環境経営計画

環境経営目標	目標達成手段	実施責任者	取組状況の確認
(1)二酸化炭素排出量の低減	二酸化炭素発生起源となる、軽油使用量及び電気使用量を低減する。	下記環境目標(2)、(3)の実施責任者	環境負荷のチェックリストにより排出量を確認
(2) 軽油使用量の低減 －収集・運搬・処理工程で使用する車両の軽油使用量の低減を図る。	エコドライブ5則の順守 加減速の少ない運転 「車間距離に余裕を持った安全な定速走行を」 ふんわりアクセル『eスタート』 「やさしい発進を心がけましょう」	収集運搬業務主任・担当者	① エコドライブチェック ② 軽油燃料及び運搬重量の確認（毎月）
(3)電力使用量の低減	・省電力手順の周知と実践	業務主任、処理業務主任・担当者	① 省電力チェックを行う。 ② 電力使用量の確認（毎月）
(4) 水道水使用量の低減 －処理場及び事務所の水道水使用量を低減する。	・節水手順の周知と実践。	業務主任、処理業務主任・担当者	水道使用量の確認（2か月毎）
(5)紙・ごみ排出量の抑制・維持	・コピー用紙の再利用の推進 ・生活廃棄物の排出抑制	業務主任・担当者	排出量の把握（チェックリスト使用）
(6)4S活動の推進 －処理場、事務所の4S並びに近隣道路等の清掃を推進する。	・工場内の4Sの推進、工場周囲の清掃活動の実践 「4Sチェックリスト」による。	業務主任、処理業務主任・担当者	4S活動を定期的に評価する（チェックリスト使用）。

6. 2023年度環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組

2023年度環境経営目標の実績

目 標	指 標	2023年度		
		目 標	実 績	達成度 (%)
1.二酸化炭素排出量の低減	kg-CO ₂ /年	547,831	592,306	92.5
2.軽油使用量の低減	km/L	2.63	2.7	102.7
3.電力使用量の低減	kWh/ t -中間処理量	2.36	3.86	61.1
4.水道使用量の低減	m ³ /年	888	918	96.7
5.紙ごみ排出量の低減	kg/年	250以下	223	102.2
6.4S活動の推進	点	80以上	90	100

2023年度環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組

◎ : 達成 (10%超) ○ : 達成 (110~90%超) △ : ほぼ達成 (90~80%) × : 未達 (80%未満)

環境経営計画	取組結果	評価	次年度の取組
1.二酸化炭素排出量の低減 ----- 下記、2、3の取組みを通じ、二酸化炭素排出量を2019年度比（基準）の3%減である 542,241CO ₂ -kg/ 年以下に低減をする。	目標 547,831 CO ₂ -kg/ 年以下に対し 592,306 CO ₂ -kg/ 年となり、達成率92.5%で達成となった。	○	2023年実績値を基準に2024-2026年度の中期計画を策定し取組む。
2.収集運搬車の燃費を2019年度（基準）の4%増である2.63km/L以上に する。	目標2.63m/L以上に対し 2.70km/L で達成した。 なった。	○	同上
3.電力使用量の低減 ----- ・電気使用量を、2019年度（基準）の4%減である2.36kWh/t-中間処理量以下とする。	・事務所、処理場の電力使用量を低減する。 ・省電力実践事項による活動 目標2.36kWh/t-処理量以下に対して 3.86kWh/t-処理量 で未達成となった。	×	同上

環境経営計画	取組結果	評価	次年度の取組
4.水道使用量の低減 水道使用量を、2019年度比（基準）の4%減である888m ³ /年以下とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・水道使用量の低減手順の周知と徹底 ① こまめな節水 ② 雨水、再生水の再利用 節水コマ、ワンストップバルブの実施の結果 目標889m ³ /年以下に対し <u>17m³/年（達成率97%）</u> で達	○	2023年実績値を基準に2024-2026年度の中期計画を策定し取組む。
5.紙ごみ排出量の低減 (維持項目) 一般廃棄物の排出量を230kg/年以下に維持する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 配付資料のペーパーレス化 ② 裏紙の使用促進 ③ マイナスカーボンとしての再生紙の使用 の結果、維持数値 230kg/年以下に対し <u>229kg/年</u> を達成	○	同上
6.4S活動の推進 (維持項目) 工場内外の4S活動 「4Sチェックリスト」による評価 最低80点を維持	「4S活動の実践」→課題とチャンスから採用 ・4S活動チェックリスト使用 最低80点を維持に対して <u>80点を達成。</u>	○	同上

7. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無

環境法規制等の遵法状況（自己チェック）は次のとおりです。

NO	法律等の名称	遵守の確認	評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵守している	○
2	使用済み自動車の再資源化等に関する法律	遵守している	○
3	道路運送車両法	遵守している	○
4	特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	遵守している	○
5	フロン排出抑制法（業務用エアコンの管理）	遵守している	○
6	自動車NO _x 、PM法	遵守している	○
7	埼玉県生活環境条例	遵守している	○
8	浄化槽法	遵守している	○

なお、関係当局よりの違反及び利害関係者からの訴訟等は、過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

評価事項	見直し指示
環境経営方針	変更しない。
環境経営目標 環境経営計画	2021-2023年の中期目標の最終年であるが、電力使用量（原単位）が大幅な未達となった。猛暑日が続いたことによるエアコン長時間の使用によるものが原因と考えられる。次年度以降の中期目標設定に当たっては、今後酷暑日が多くなる省エネを想定し、今年度実績値を基準として設定する等、大幅な見直しを検討すること。
実施体制	変更しない。
その他	
<p>【総合評価】</p> <p>環境目標を定めPDCAを廻していくサイクルは軌道に乗ってきている。気候変動による猛暑日が続く、電力使用量（原単位）の影響が出ているが、エアコンの使用については健康面から考慮し厳しい目標値の設定は無理があることから、2024年～始まる中期計画の目標値は2023年実績を基準に削減率も小幅ないしは維持レベルで設定していきたい。</p>	

(参考) 当社のSDGsの取組

環境省SDGsガイド(2)参照

